



瓊浦高等学校  
学校通信  
第 6 号

平成25年2月28日発行  
電話 095-826-1261  
FAX 095-820-5245

瓊浦の窓

水仙歳時に想う

副校長 岩永 義宣

親愛なる生徒の皆さん。余寒なお去らずひたすら春の到来を待ちわびる昨今ですが、3年生は卒業を前に過ぎ去りし日々を想起し、2年生は楽しかった修学旅行を思い出し、1年生は高校生活の感慨にふけていることと想います。

陰暦で2月のことを如月と言います。寒さで着物を更に重ねて着るから「着更着」、草木が生え始める月で「生更木」等諸説があります。

先日、Sさんよりご自宅の庭に今を盛りに咲いている水仙の花をいただいた。これは私が水仙の花を愛でていることを知っておられたからであろう。水仙の花言葉は「うぬぼれ」、「自己愛」、「神秘」で、ギリシャ神話のナルキッソスの伝説にちなんだもので、水辺の水鏡に映った自分自身に恋をし、憔悴して命を落とす。その後、自分の姿を覗き込むかのように咲く水仙に変わったというお話にちなんだものである。

それはさておき、彩りが少ない今の季節に耐寒の中、凜として香りを放っている姿が気高く、清楚なたたずまいの感じを与えている。このことが、華道・茶道といった日本人の美意識にマッチしているから好まれていると思います。

水仙の花は単純ですが、心を和ませ、見る人がなくても花を咲かせ、強い生命力と清涼さを感じさせます。人の生き方もこうありたいと思います。皆さんも強い精神力と清い心を持って学校生活を謳歌してください。

孔子の言葉に「人にして信なくんば、其の可なるを知らざるなり」というのがあります。これは、人が信用を失うと、どこにも使い道がないということです。世間から信用されなければ、社会生活は成り立ちません。では、信用を得るにはどうすればいいのでしょうか。

1つは約束を守る。それから生き方に筋を通すことも信用を得る要素です。人に対する心持が温かいということも大事です。

水仙の花の原産地は地中海沿岸で、平安時代に日本に渡来し、野生化したと古老に聞いたことがある。もし、許されるものなら、2月を水仙月とよびたい。

花瓶に挿した水仙の花の香がそこはかとなく漂っている。

進学指導部より

今年度、より一層の学力向上を図るため、進学指導部では進学希望者を対象に、例年実施している夏季学習合宿(8月)に加え、秋季学習合宿(10月)など、いくつかの新しい試みを実施いたしました。これらの試みは、ある程度の効果を上げることができたと考えています。

来年度も生徒の夢の実現を目標に、今年度以上に努力してまいりたいと思いますので、今後ともご理解とご協力をよろしくお願いします。

〔進学内定状況〕

	大学・短大等	専門学校等	合計
普通科	31	39	70
情報ビジネス科	1	9	10
機械科	7	16	23
合計	39	64	103

2月28日現在

就職指導部より

経済の不況に加え、東日本の震災の影響と円高による輸出産業の低迷などから就職を取り巻く環境はなお厳しく、今年も苦戦を余儀なくされました。しかしながら生徒諸君の努力と粘り強さ、そして学年の先生方の支えもあり、現在148名の内定者を出すことができました。

あと8名が目下、採用試験に挑戦中です。良い結果を期待したいと思います。

〔採用内定者数〕

	男子	女子	合計
県内	86	7	93
県外	51	4	55
合計	137	11	148

2月28日現在

いよいよ卒業式

いよいよ明日、3月1日に瓊浦高等学校第64回卒業証書授与式が行われます。今年度の卒業生は普通科143名、情報ビジネス科44名、機械科89名の計276名です。卒業生にとっては、長いようで短かった3年間であったと思います。こうして無事に卒業を迎えることができ、教職員一同本当に嬉しく思っています。

3年生の保護者の皆様におかれまして卒業式は、お子様方の晴れ舞台となります。数多くのご参加をいただければ幸いです。開式は10時を予定しております。会場には9時40分までに入场くださるようお願いいたします。なお、校内に駐車場の余地がございませんので、自家用車でのご来校はご容赦下さい。また、式当日はマイククロバスの運行を予定しています。

《主な行事》  
3月

1日(金)	卒業証書授与式
5日(火)	進路ガイダンス②
8日(金)	強歩大会
13日(水)	美術鑑賞 写真撮影
18日(月)	凧揚げ大会 教科書販売 写真撮影
19日(火)	終業式
22日(金)	学級編制式(新入生) 制服採寸(新入生)
29日(金)	学用品販売(新入生)



## 【亀山焼&ハタ 校外展示会】

2月22日から24日の3日間、五島町のKTNギャラリーにて「瓊浦亀山焼」と「長崎ハタ」の展示会が実施されました。

「亀山焼」は江戸時代、今の瓊浦高校の近くに工房を構え、名陶として名を成した焼き物です。その歴史や意匠を機械科の3年生が課題研究で学び、制作しました。また、長崎の伝統文化である「ハタ」を情報ビジネス科で研究し、制作しました。これらの作品の展示に加え、陶芸部員や教員による亀山焼作品も展示されました。展示会は大変盛況のうちに終わることが出来ました。

郷土の歴史を学ぶこと、そして伝えることはその場に生きた者の役目です。今回、こうした長崎の文化を学んだ生徒達が少しでも興味を示し、後につなげてもらうことができれば幸いです。



展示会の様子



教員の作品  
(亀山焼)



生徒の作品  
(亀山焼)

## 【情報ビジネス科 課題研究発表会】

2月26日午後、情報ビジネス科発表会が行われました。発表テーマは、お菓子作りに挑戦した「商品開発」、長崎の歴史を学ぶ「長崎ハタ」の2つを主に発表が行われました。

「商品開発」と「長崎ハタ」については、外部から講師をお招きし、プロの視点からご指導を頂きました。体験的な学習、実践力の向上という面で、生徒たちの刺激になったと思われます。今後も上級資格へのチャレンジ、実践的な学習機会の確保等、科の活性化に繋がる活動を継続していきたいと思えます。



## 【修学旅行】

初日、早朝6時20分に県庁裏集合からスタートした今年の修学旅行。遅刻者が出るのではないかと不安をよそに、生徒たちはほぼ定刻に集まり、早い人は6時前から生き生きとした表情で待っていました。

ほとんどの生徒にとって初めての東京。自主研修では、人の多さに驚き、建物の高さによって圧倒されつつも、弱気になりがちな心を奮い立たせ、各班充実した時間を過ごしていたようでした。

2日目から行われたスキー研修。初日はたどたどしい足取りだった生徒達ですが、最終日になると上級者コースに挑戦する人もいました。初体験の白銀の世界に興奮を隠しきれない様子で、いつもより笑顔が溢れているようでした。

この4泊5日の修学旅行を通して、生徒たちは多くのことを学んだようです。4月からは最上級生となる生徒たち。今回の経験を今後の学校生活に大いに役立ててもらいたいものです。



## 【部活動成績】

### ○ ハンドボール部

平成24年度

第41回九州高等学校選抜ハンドボール大会

**優勝**

(全国選抜大会出場権獲得)



### ○ 水泳部

第33回九州カップ水泳競技大会

100m自由形

第3位

武次 海斗(普2D)

100m平泳ぎ

第3位

増山 郁弥(普1D)

### ○ 陸上部

長崎県高等学校新人体育大会

新人駅伝競走大会

第4位